

旗納め餅つき交流会開催

博多支部



博多支部餅つき交流会に参加して

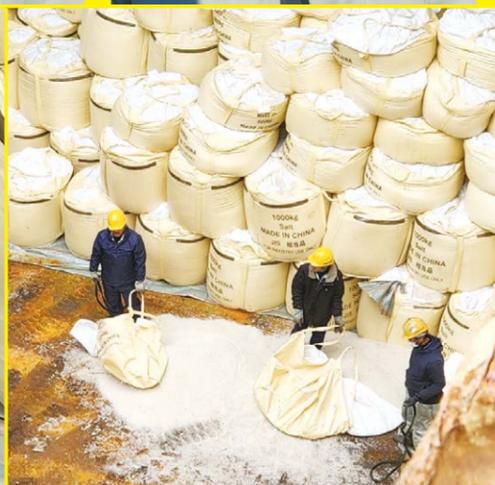
12月15日に全港湾九州地方博多支部旗納め餅つき交流会を行いました。朝早く寒い中から博多中央港湾福祉センターには組合員、家族達、多くの参加者が集まり、声を掛け合いながら準備や段取りをして頂きスムーズに餅つき交流会をスタートすることができました。途中、雨もぱらつきましたが、何とか天候にも恵まれ、皆でわいわいと一生懸命餅をつくことができました。交代しながら餅をつき、その姿を見ていると疲れも忘れます。子供達はまだつきたいと杵をなかなか手放してくれませんでした。餅を蒸してくれる人達、餅をついてくれる人達、餅を綺麗に丸めてくれる人達、美味しい鍋を作ってくれる人達、各分会皆の協力と意気投合でとても良い餅つき交流会となりました。昼食の入り鍋、ホルモン鍋、つきたての餅、餅米で作ったおにぎりは最高に美味しかったです。今後とも、各支部、各地方の方々とも交流を深め合いより良い組合活動を行なっていきたいと思います。

博多支部 小野貴之



日本海地方新潟支部から 敦賀支部へ労働者供給事業

LOCAL



敦賀支部は11月に入り荷役機械の故障や悪天候が続き、船混みと人手不足が続いていました。会社からの要請もありましたが、支部として組合員の労働環境改善と雇用を守る観点から他港から労働者供給事業を活用する事を決め、新潟支部から11月25日～28日までの5日間、6名の供給を受けました。具体的には融雪剤本船荷役の船内及び沿岸作業を行なってもらいました。我々支部として労働者供給事業で供給を受ける事が初めてであった為、事務手続きを含め実績のある新潟支部から様々な指導を頂き実現しました。作業面については同業種からの支援ということもありスムーズに荷役作業を進めることが出来ました。この事については、支部組合員からも感謝の言葉を多く聞いています。今はどこの港も人手不足が生じている中において、労働者供給事業は互いを助け合い、成長・発展させるため、「お手伝い特例」使わせないため、雇用を守る為に地方港では有効で貴重な仕組みであると確信しました。今後も敦賀支部は供給する側、受ける側としても、しっかり対応できるように整備を進めていきたいと思ひます。新潟支部の皆様、ありがとうございました!!